

研究課題名：	病棟栄養カンファレンス～スクリーニング項目改定前後での比較検討～
所属（診療科等）：	公立昭和病院（栄養科）
研究責任者（職名）：	村田 里佳 （主任）
研究代表者（所属）	－
試料・情報の提供責任者：	公立昭和病院 院長 上西 紀夫
試料・情報の管理責任者：	
研究期間：	2023 年 1 月 25 日～2024 年 1 月 31 日
研究目的と意義：	低栄養は、免疫系の低下、創傷治癒の障害、筋肉の消耗、入院期間の延長、治療費の増加、死亡率の増加など、多くの有害な結果と関連していることが報告されている。急性期病院に入院した患者さんの 30～55%が低栄養のリスクがあるという報告がある。管理栄養士がほかの多職種と連携して栄養管理を行うことで、遅延や疎漏のない対応が可能になることが報告されている。また NST（栄養サポートチーム）のスクリーニングには簡便性と迅速性が要求されることも報告されている。当院では 2022 年度より病棟栄養カンファレンスにおけるスクリーニング項目の改定を行った。この改定が早期栄養介入が必要な患者さんの抽出に有効であったかを検討することを目的とする。
研究内容：	●対象となる患者さん 当院に 2021 年 6 月 1 日～7 月 31 日の期間に入院し、栄養カンファレンスにて検討された患者さんと、スクリーニング項目改定後の 2022 年 6 月 1 日～7 月 31 日に入院し、期間中に栄養カンファレンスにて検討された患者さん。カンファレンス実施後 1 週間以内に退院した患者さんは除外する。 ●利用するカルテ情報 年齢、性別、身体所見、入院日、退院日、転帰、栄養カンファレンス実施日、栄養カンファレンス内容、摂取・投与栄養量、栄養介入日、内容等 ●研究方法 カルテ情報を用いて情報を収集し、栄養カンファレンス実施日、カンファレンス日の栄養充足率、7 日後の栄養充足率、栄養介入日などについて、スクリーニング項目改定前後で後ろ向きに検討を行う。 ●利用する者の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	【研究担当者】（研究全般に関すること） 例 1. 研究計画や研究方法に関する資料の入手・閲覧に関すること 例 2. 試料・情報の利用又は多機関への提供を停止する旨に関すること 例 3. 研究により得られた結果等に関すること 氏名：村田 里佳（栄養科） 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912 【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）